

段ボールジオラマ防災授業

一般社団法人 防災ジオラマ推進ネットワーク

プログラム概要

段ボールジオラマとは、等高線に沿って切り抜かれた段ボールパーツを積み重ねることで、子供でも簡単に組み立てることができるジオラマキットです。誰にでもわかりやすいジオラマを楽しみながら自分たちの手で作り上げることで、自分のまちへの関心を高めつつ、防災意識の向上へとつなげることができます。



対象者	小学生、中学生、高校生、特別支援学校の児童・生徒	実施可能エリア	全国
テーマ	安全・防災	対応可能日	平日授業、平日放課後、土曜日、日・祝日や夏休み等の長期休暇
費用	要相談 交通費実費、資料実費	主な開催場所	学校、社会教育施設(コミュニティセンター) その他(公民館、図書館など)
所要時間	90分 ※60~120分でアレンジ可能	対応条件	条件をご相談ください

【活動のきっかけ】

東日本大震災後の石巻とのつながりをきっかけに、より身近なアプローチからの防災意識の向上を目的に社団法人を立ち上げました。組立式の段ボールジオラマキットを用いたワークショップ、及び完成したジオラマの活用サポートを通じて、実践的で楽しく主体的に参加できる防災学習を推進しています。

従来の防災教育はともすると堅苦しくなりがちで、参加者も限られがち傾向があります。子供から大人まで、様々な人が一緒になって楽しく参加でき、結果として防災感覚が身につくような場が必要だと私たちは考えています。

【実施までの流れ】

まずは事務局へご連絡ください
段ボール防災ジオラマを制作する「団体名」、「ご担当者名」、「制作の目的」、「対象としたいエリア」、「ご希望の仕上がりサイズ」をお知らせください。

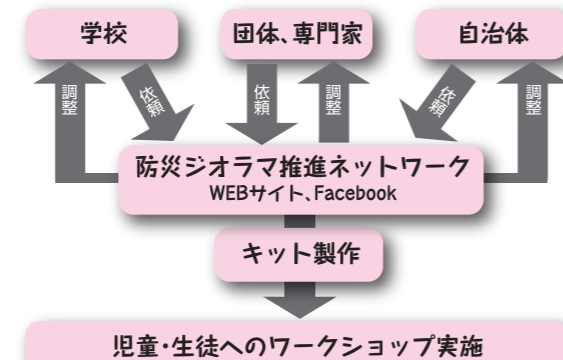
ジオラマキットの仕様を確認します
40cm四方程度の小さなものから、2m四方の大きなものまで可能です。段ボール上には道路や主要施設等が印刷されています。(地図協力:株式会社セゾン)

事前にジオラマ作成の準備をお願いします
必要な道具:木工用ボンド(2kg程度のボトル×4グループ分) ひとつのグループにつき、ローラー刷毛2、トレイ1、絵筆数本 接着用の重し(国語辞典などでOK)各グループ6~7個 色塗り用マジック(プロッキーなど)各グループ1~2セット
<準備しておくこと>
・対象エリアの特性を調べる(ハザードマップや過去の災害情報の確認)
・マッピングしたいものや場所を調べる

ご希望に応じて当日、スタッフや防災の専門講師を派遣することも可能です

【実施体制】

WEBサイトやFacebookページで申込みを受け付けており、学校教職員、コーディネーター、まちづくり団体、防災専門家、自治体などからの要請を受けてキットを製作しワークショップを実施。



活動の特長・工夫

①誰でも簡単に作れる

等高線に沿って切り抜かれたパーツを積み重ねるだけなので、子供でも簡単に組み立てることができます。

②体感するからおぼえる

楽しみながら自分たちの手で作り上げることで、自分のまちへの関心を高めつつ、防災意識の向上へとつなげることができます。

③親子で楽しめる

大人も楽しめる内容のため、親子で防災を考える良い機会になります。

プログラム内容

【ねらい】

- ジオラマの組立てを通じて、地域及び地域の地形への関心を高める。
- ジオラマへの防災情報等のマッピングにより、防災意識・知識を向上させる。

【進行概要(時間・内容)】 60~120分

STEP1 (10分)

知ってるようで知らない、自分のまちの地形 みんなのまちの地形は？ ジオラマとは？

レクチャー

STEP2 (20~50分)

段ボールジオラマを組み立ててみよう
等高線の段ボールを積み重ねてジオラマを作る。
※接着しない場合は20分、接着する場合は50分



ワーク

STEP3 (20分)

地図に色を塗ってみよう
道路や防災関連施設などに色を塗る。

ワーク

STEP4 (10~40分)

考えてみよう
高さを数える みんなのまちの特徴は？どんな危険がありそうか？
危険な個所に印を付けてみる 災害が起きたら？ など。

ディスカッション



児童・生徒の声

積み重ねて立体だから地形がよくわかった。
バンバン(型抜き)して、工作みたいで楽しかった!

保護者の声

親として気になっていたことを子供と一緒に考えられてよかった。

教員の声

自分の手で作るから主体性を持って取り組める。地域と連携できる点もいい。

本プログラムのポイント

- 自分たちの住む地域や地形に対する興味・関心を高める。
- 防災意識向上と知識習得。
- 世代に関係なく、防災について話し、考える。

今後の展望

コーディネーターやまちづくり団体、防災専門家等との連携を深めて活動の認知促進を図るとともに、
①専門家との協働によるソフト面を中心としたワークショッププログラムの精緻化・バリエーション構築
②キット製作の効率化によるコストダウン
③ジオラマの機能性の更なる向上
活用のしやすさを高め、更に普及を促進していきたい。

企業・団体連絡先:

一般社団法人 防災ジオラマ推進ネットワーク
〒145-0063 東京都大田区南千束3-18-14 @OKY
TEL: 090-1500-2120 e-mail: info@bosai-diorama.or.jp